

CHALLENGE21



第9号

定価 200円

チャレンジ21 / 2000年8月31日発行 / 第1巻第9号(通巻9号) / 発行: 特定非営利活動法人 全国障害者福祉援護協会

「障害者と健常者との共生を考える」

ノーマライゼーションの講演会を開催!!

「ノーマライゼーションの講演会」は6月29日午後6時よりワークピア横浜で行われました。今回は神奈川県労働者福祉協議会、連合神奈川、全国障害者福祉援護協会3団体の共催。神奈川県、横浜市、川崎市の後援により開催いたしました。

神奈川県福祉部長小野康夫様のご挨拶のあと、「障害者と健常者との共生を考える」と題して森山志郎講師による講演会が行われました。

講師の森山さんのことは本会報に何回かご紹介してきましたが、改めてここに紹介いたします。



あいどつをする永田理事長

昭和60年55歳の時に勤務中の札幌で脳梗塞になり、右半身マヒの二級障害者となり退院。リハビリを続けながら障害と戦い8年前に「片マヒ自立研究会」を主宰。執筆活動や全国各地で講演するなど、多忙な毎日を送られていきます。現在71歳、今ではかなり歩けるようになられたましたが右手はまだまだ不自由なようです。

今回の講演会は森山さんが退院されてから現在まで、障害を乗り越えさまざまな問題に取り組み、学んだこと教えられたことを実体験とおして語っていただきました。

障害を克服するため に取り組んだ問題

① 移動能力の改善

まず第一番に実行したことは移動能力を改善することでした。つまり歩くこと。移動する能力を改善しないと、使わない人の筋肉は退化するからなのです。わずか十五メートルか、干メートルを歩くだけで疲れ、筋肉はすっかり弱って実用的ではありませんでした。その能力を何とかして向上させたいと思い、歩くのですが当時は歩行する道路の環境や

整備も悪く、またバリアフリーやノーマライゼーションという言葉もありませんでした。障害者が街を歩いたりしなければ危なくないのに、という感じの社会でした。病院に依頼した装具を付け、危険のないように安全対策をして以来十五年間毎日歩いていきます。おかげで多少の長距離や少々の坂道や階段なども歩ける力がついてきました。

② 手の代替

(身の回りのことを目標に)

二番目に実行したことは右手が利かないので身の回りのことをどうやって自分で処理するか、という問題です。介助者妻に手伝ってもらいその時間を節約して何か有意義な使い方をしたい、という考え方がありますが、私の場合自分の能力を回復するために介助者の負担を少なくして自分のことはできる限りやる方針をとりました。とはいっても電話をしながらメモを取ったり、箸を左手に持つての食事は苦労します。最近ではワープロを使って手紙や日記が書けることは右手の使えない私には大変ありがたいことでした。もしそんな機械がない時代でしたら、自分の心に溜まった屈折した思いがどんどん悪い方に成長して、人間的に困った状態に結晶したのではなかったかと思えます。

③ 言葉(コミュニケーション)を充実させ誤解を防ぐ

次に乗り越えなければならぬ問題は言葉の問題です。人間が社会生活を送るには言葉によるコミュニケーションは非常に大事です。片マヒになると自分の考え方が正しく伝えられないケースが多いのです。時には失語症といって言葉と意味とがつかない重い障害もあります。唇や喉の筋肉が麻痺しているために発音そのものがうまくいかない状態があります。カラオケに行つて歌うのもよい訓練になります。運が良ければ時間がかかっても次第によくなります。



神奈川県福祉部長 小野康夫様



講師の森山志郎様

④習字と出会い左手の可能性を知る

訓練教室でお習字の師匠に出会い、悪い手に筆を持たせてそれを左手でサポートしてそのまま前に引いてみた。そのとき、心はプルプル震えるほど感激しました。生役に立たないと思っていた左手だけれど、適切にサポートすれば役に立つことを発見しました。その後正式に師匠に弟子入りして本格的に練習を始めました。自分の作品を見たとき、「左手でこんな作品ができるなら障害はあるけれどそれは自分の個性ではないか、これからは左手を訓練すれば社会に有用な仕事はできるのだ」と思いました。それ以来、自分の障害が余り気にならなくなりました。

そこで「歩けた！手が動いた」という闘病の記録を私の立場と妻の立場とで書いて主婦の友から出版しました。これで私のリハビリは終わったと考えています。

障害者仲間へ学んだこと

片マヒの障害に負けず、何とか立ち上がろうとする仲間と共に「片マヒ自立研究会」の活動をしています。中でも強く感じたことは、般に脳卒中は高齢者の病気で信じられています。若くてもなる方も多い病気だ、ということ。そんな方が「中途障害者」という形で後遺症を負った場合に、家の経済をどう支えていけばよいか、生計の維持、仕事の確保と大きな問題です。人間の持つ能力というものはその職場の中で養われた能力が大半なので、自分がいた職場はその人の能力を一番うまく発揮できる場所なのだ、ということ。ところが本人の能力自体は障害を持つことで大きく変わってしまいます。そのため何らかの職務内容の再編成を要とします。その職務内容の再編成をしても、その企業の中で働けるような配慮を、何とかお願いしたいと思えます。急速なグローバル化の嵐の中で、企業自体が必死に生き残りをかけたリストラをやっています。その企業の中で昨日まで、一緒に企業のために働いてきた戦友ともいべき社員を、日病気をしたからという理由でそのまま見捨てないでほしいのです。何とかその人が人生を送れるような配慮がほしいのです。

これからの高齢化社会に向けて

時代が高齢社会だはいつてきますと、「自力・自助努力」には限界があります。自分ですることは努力する、そうして子どもや孫の時代に借金の置きみやげをしたくないと思えます。ところが「生

き生き」と暮らしたい、と充分ににその意欲はあるのに、歩外になると、道路は安全に歩ける状態になっていない。歩行環境といわれる道路などの諸問題が十分に整備されていない。横浜市では中心部の道路はずいぶん整備されてきました。が、般の市民が生活する地域では未だ不十分です。例えば、車イスで移動しようと思った場合動かない人が非常に多いのです。個人が逆立ちしても解決できない問題です。私自身はいつ車イスのお世話になるのか分りませぬ。しかし、その日に備えてどのようにすべきか、家族と話し合っています。

日本全体がそんな高齢者が生きる時代になったということ。個人の努力を越えたところにある問題、社会の側がキチンと整備して欲しい問題が残されています。

「心」の中にこの考え方が芽生えていくしかないのです。始めのうちは小さな芽かもしれませんが、だんだんこれは成長していきます。そしてやがて、それは社会の常識になっていきます。そんな風に草の根といわれる市民の一人一人に「ノーマライゼーション」を問ひかけ、その時始めて人類普遍の理想が実現してくるのだらうと思えます。

民の強い支持がなければ実現しません。もっとお年寄りが生き生きできるために、社会的な役割というものを創り出して欲しいのです。企業の中で働いていた多くの高齢者は、そこで培われた技能はどこに持っていても素晴らしいものです。例えば三重県の北川知事はそんな民間企業のベテランを集めて官庁の投資費用とその効果を研究しています。そんな能力を持っている方が沢山いらしゃるのです。このように潜在的な能力に社会的な役割を与えて活用して欲しいと思えます。そして「目標」のある生活を作り、お年寄りが自分には誰かに「あて」にされていると思うと、それだけでも「寝たきりの予防」になり、非常に生き生きとした高齢者になっていくと思えます。

そうして「ペンペン」して社会的な役割を果たしていた老人が、ある日、静かに「コロリ」とあの世に旅立つのは考えただけですばらしいことではないでしょうか。

本日は長時間のご静聴をありがとうございました。

「ノーマライゼーションの実現に向かう社会」

「ペンペンコロリ社会」とは人田先生の「介護予防」という本の中で見つけた言葉です。すつかり気に入って「これは良い」と借用させていただいております。何とか「道路環境」「歩行環境」を改善して、死ぬまで、とにかく「寝たきり」にならないように健康に生活できる、そんな環境さえあれば私たちが幾らでも頑張れます。孫やひ孫の代に借金を残したくないと思えば頑張るしかありません。しかし、頑張るためにはもう少し環境の整備が必要です。日本の社会状況を歩でも理想のノーマライゼーションに向けて近づけるには、幅広い国

「ペンペンコロリ社会」の提案

「介護予防」という本の中で見つけた言葉です。すつかり気に入って「これは良い」と借用させていただいております。何とか「道路環境」「歩行環境」を改善して、死ぬまで、とにかく「寝たきり」にならないように健康に生活できる、そんな環境さえあれば私たちが幾らでも頑張れます。孫やひ孫の代に借金を残したくないと思えば頑張るしかありません。しかし、頑張るためにはもう少し環境の整備が必要です。日本の社会状況を歩でも理想のノーマライゼーションに向けて近づけるには、幅広い国



同時通訳をする手話通訳士(左)

講演会「ノーマライゼーションと共生の社会」

講師 森山志郎

障害者福祉協議会、連合神奈川、神奈川県労働者連合会、川崎市、横浜市



聴覚障害者のアドバイスを受けて投げる視覚障害者

前回同様会場となった新横浜プリンスホテル・ボウリングセンターのご協力をいただき、視覚障害者21名、聴覚障害者42名が参加しました。視覚障害者1名に健常者2名で1チームを編成して午前10時に一斉にスタート。視覚障害者へスタート位置やピンの方角などを

5月28日(日) 新横浜にて、(社)横浜市視覚障害者福祉協会会員の視覚障害者と聴覚者と共にボウリング大会を実施いたしました。昨年に引き続き第2回目になるこの大会は「ノーマライゼーションの理念の普及」をテーマに行われたもので、障害者と健常者が遊びを通して触れ合い、コミュニケーションを図るなど大変意義のあるイベントでした。

第2回 ノーマライゼーション・ボウリング大会開催 (5月28日)

賞品をご協賛して頂いた皆様です

- ・朝日生命保険相互会社
- ・(株)伊藤ビル
- ・NKK
- ・(有)オフ企画
- ・かもめサービス
- ・倉田仁後援会
- ・しょういん横浜
- ・(株)セレビス
- ・東芝機器株式会社
- ・(株)トキワ
- ・日本鋼管京浜製鉄所労働組合
- ・ベターライフテレビ(株)
- ・株式会社村上義一商店
- ・森敬明後援会
- ・(株)横浜エージェンシー
- ・連合神奈川

— ありがとうございます —



横浜市視覚障害者福祉協会会長 猪俣功忠様

サポートしながらのゲームはノーマライゼーション企画にふさわしいものとなりました。今回も数多くの団体や企業から賞品をご提供していただきありがとうございます。誌面をお借りして感謝申し上げます。



第一回 トップアック・チャリティー・プロアマ・トーナメント パーティー会場

当協会関西地区本部大阪支部長木村敏夫様のご配慮により、3月12日兵庫県東条ゴルフ倶楽部にて全国障害者福祉支援協会と地元西宮市社会福祉事業団との共催で「第一回トップアック・チャリティー・プロアマ・トーナメント」を行いました。多数の協賛により、プロ・アマ総勢160名余りが参加して

チャリティーゴルフを共催 横聴協へ寄付しました

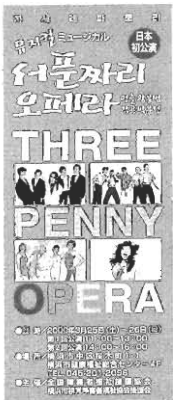
のチャリティーゴルフは抽選会やオークションありと大変盛り上がりを見せた大会となりました。当協会ではこの大会で集まりましたチャリティー金を横浜市聴覚障害者協会へ寄付をいたしました。



横浜市聴覚障害者協会前理事長 野澤克哉様(右)

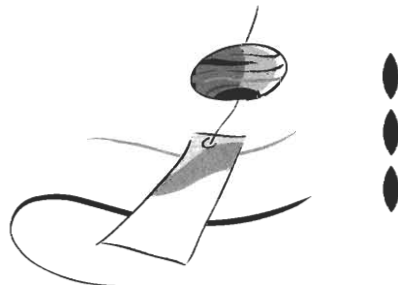
韓国ミュージカル 「三文オペラ」を主催

3月25日・26日の2日間、横浜市健康福祉総合センターにて韓国人出演による「三文オペラ」が上演されました。この公演をするにあたり当協会ではチケット販売などの支援をし、多くの方に楽しんでもらいました。



かもめサービスを特別会員に

昨年に引き続きかもめサービスの青田吉弘社長より「かもめのライフ社会貢献カード」の手数料の一部を寄付していただきました。理事会の承認を得てかもめサービスを特別会員として当協会より感謝状を贈りました。



ボランティア活動報告

囲碁・将棋大会

(2/6)



将棋大会会場で審判をつとめるボランティア

(社)横浜市身体障害者団体連合会が主催する「囲碁将棋大会」のボランティアはNKKから審判として毎年派遣していただい

ております。聴覚障害、視覚障害、肢体不自由などとさまざまな身体障害者の方々が対戦する中で的確な審判によりスムーズに進行。

障害者の介助・イベント運営のスタッフとしてボランティア登録の皆様と活動を行っております。

なかでも聴覚障害者と視覚障害者との対戦では審判が棋譜を読み上げ手話通訳者がその場の会話を通訳することといった、普段あまり見ることができない光景が何カ所かのテーブルで見られました。(写真下)

勝敗を競うこのような場で審判・手話通訳という大役をつとめていただいたボランティアの皆さん大変お疲れさまでした。

視覚障害者と共に寄席を観賞

(2/27)



盲導犬と浅草寺で参拝

横浜からボランティア視覚障害者総勢60名を乗せたバスは浅草に到着。少人数のグループに分かれて雷門、仲見世、浅草寺見物。昼からは全員で演芸ホールで寄席を楽しんできました。中でもかみ切り演芸でリクエストした「盲導犬」は見事なものでした。暖かな1日を盛りだくさん楽しんできました。



明るい未来のために「ロッキー号」を走らせよう!



ふれ愛サポート
定期預金

ロッキー

ふれ愛サポート定期預金《ロッキー》は、県内の福祉団体等に福祉車両「ロッキー号」を寄贈するための資金源として活用する定期預金です。

お問い合わせは
神奈川県労働金庫

フリーダイヤル
0120-48-2828

《ロッキー》は
こんな定期預金です。

- お預入れ期間 / 1年
- 金額 / 50,000円以上
- 定期預金の種類 / スーパー定期(300)、大口定期
- 金利 / 店頭表示金利でお預かりします。

ふれ愛バンク
ろっきん

千葉真牛込海岸潮干狩りの旅

(5/21)

牛込海岸での潮干狩りは朝10時の開門と同時に始まり時間のたつのも忘れ、夢中になつてアサリを網一杯取りました。帰りは海ホテルに立ち寄りそれぞれみやげを求めて混雑した中を楽しんできました。それにしても遠浅の海岸で全盲の方たちは手探りで上手に貝を捕っていました。

手探りで潮干狩り、貝はどれも小粒でした



市長杯ボウリング大会

(6/25)



視覚障害者とボランティア、息ぴったりです

視覚障害者による恒例の横浜市長杯ボウリング大会が新杉田ボウルで行われました。視覚障害者30名、ボランティア5名。ボランティアの大半が過去この大会にお手伝いに来た人たちなので、介助も慣れたもの。お互い相気あいあい息がぴったりでした。

プロ野球解説者「加藤博」チャリティゴルフ大会より寄付を受ける



(財)日本盲導犬協会渉外部長高野秀一様へチャリティ金の寄贈

当協会会員の神奈川県議会の牧島功氏のご協力のもと「加藤博」チャリティゴルフ大会より当協会を通じて「日本盲導犬協会」に寄付をいたしました。「日本盲導犬協会」には昨年当協会が開催したチャリティゴルフ大会からも寄付をしており、こうした活動が多くの方々に理解され、チャリティの輪がこうした形で大きくなつて行くことを大変嬉しく思います。特に主催されました加藤博氏は障害者福祉に大きな関心を持っておられ6月25日には横浜市聴覚障害者の集いでも記念講演をされています。

第7回手話教室(入門コース) 開講中!

4月17日よりはじまりました手話教室、入門コースということもあって30名定員のところ250名の応募がありました。毎年毎年手話を習いたい方が増えています。できるだけ多くの方たちに手話を学んでいただきたいのですが、基礎からきちんと教えていただける先生の数が少ないので応募者全員が受講することはできません。せめてこの30人のなからできるだけ多くの手話通訳士が誕生することを願っております。



社会貢献型・自動販売機の設置にご協力ください

この潤いが小さな社会貢献へ

この自動販売機は、利益の一部が下記団体へ寄付されます

全国障害者福祉援護協会

理事長 友田 洋 TEL 045-411-0294(代)

このステッカーを貼った自動販売機を設置します。



JAPAN KINDNESS

ジャパン・カインドネス協会

ステッカーのある自動販売機で缶飲料を購入すると、自動的に代金の一部がジャパン カインドネス協会を通じて、全国障害者福祉援護協会に寄付され、障害者福祉活動に役立てられます。

是非この機会にJK協会指定の自動販売機の設置に、ご協力お願い申し上げます。

特定非営利活動法人



全国障害者福祉援護協会

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-22-3 伊藤ビル TEL.045-411-0294(代) FAX.045-411-0295

ご協力ありがとうございます。 今後ともご支援ご協力のほどお願い申し上げます。

このコーナーでは当協会の法人会員を
順次ご紹介いたします。

- (有)アーバンホール
- (有)アールアンドエー
- 旭硝子労働組合
- (有)アベニューホーム
- あん総合企画(有)
- 石川島播磨重工労働組合
- (株)伊藤ビル
- 伊豫商事(株)
- (株)エイセキ
- エコス(有)
- NKK
- エヌケーケー物流(株)
- エヌケーケープラント建設(株)
- NTT労組神奈川県支部
- (有)笑日寿
- (株)大熊整美堂
- (株)大番
- (株)オリーブ
- 神奈川県労働金庫
- 川崎製鉄健康保険組合
- 川崎製鉄労働組合連合会
- 関東オートグラス(株)
- キリンビール労働組合
- (有)クオーク
- (株)クラスター
- (有)ケンユウ
- 鋼管ドラム(株)
- 交通労連関東地方総支部
- 興南設計(株)
- 鴻洋リ・ホーム
- 小松製作所労働組合
- (株)サーヴ
- 医療法人直源会 相模原南病院
- サムディ編集部
- (株)サン・インテル
- (株)シェイ・エスエス
- (株)シガドライセンター
- (株)しょういん横浜
- 湘南交通(株)
- (有)湘南百貨店三島店
- 新日本製鐵労働組合連合会
- (株)シンプル
- 鈴江コーポレーション(株)
- 住友重機械労働組合連合会
- 全国グリーン共済会
- 全国造船重機械労働組合連合会 神奈川地協
- 全日産・一般業種労働組合連合会
- 全民懇ボランティア基金
- 全労済神奈川県本部
- (株)創土社
- (有)田辺葬祭
- 多摩川ハイヤー(株)
- (有)ディーキャット
- 東京電力労働組合神奈川総支部
- 東邦薬品(株)
- (有)トップエージェントサービス
- (株)富世
- トヨタ自動車労働組合
- 日青鋼業(株)
- 日本鋼管福山製鉄所労働組合
- 日本携帯電話サービス(株)
- 日本健康ファミリー共済
- 日本鋼管京浜製鉄所労働組合
- 日本鋼管工事(株)
- 日本鋼管鶴見労働組合
- 日本鋼管津労働組合
- 日本鋼管本社労働組合
- 日本鋼管労働組合連合会
- 日本鉄鋼産業労働組合連合会
- (有)博善
- 浜本建設工業
- 日立製作所労働組合
- (有)ビックフレン
- 日の丸交通(株)
- (有)平木商事
- (株)フォーバル総合研究所
- 不二交通(株)
- 富士交通(有)
- (有)藤間企画
- ブリヂストン労働組合
- 平和交通(株)
- ベターライフテレビ(株)
- (株)ベルホール
- 法輪葬祭(株)
- (株)マーク・テック
- 松岡興産(株)
- 丸全昭和運輸労働組合協議会
- 総合商社マルチュウ(有)
- 三井造船労働組合連合会
- 連合・造船重機労連・三菱重工労働組合
- (株)村上義一商店
- (株)メイク スライプ
- (株)メイショウ
- (有)山岡葬祭
- (株)ユニオン
- 横浜環境保全(株)
- (株)萬屋
- (有)ライフワーク
- (株)リアルエステート・エイジェンシー
- 竜童建設(株)
- 日本労働組合総連合会神奈川県連合会
- ワークス横浜(株)
- (有)ワールド・ネット・システム

特定非営利活動法人 全国障害者福祉援護協会では会員を募集しております

編集後記

いよいよシドニー2000オリンピック大会が9月15日からはじまります。トライアスロンなど新しい競技も加えられ熱戦が繰り広げられそうです。同時に10月18日からはパラリンピックもはじまります。こちらも車いすラグビーなどいくつかの競技が加えられ楽しみです。そしてオリンピック・パラリンピック共「自然環境の保全」がテーマとなっているようです。21世紀を迎える今、障害者福祉、自然環境は私たち一人一人が真剣に取り組んでいかなければいけない大テーマになりそうです。

T.S.

法人会員	1口	5,000円/月
個人会員	1口	1,200円/月

指定の「加入申込書」にご記入の上、当協会までお申し出ください。
お問い合わせは「全国障害者福祉援護協会」事務局

TEL:045-411-0294
ヨイヒト ワフクシ



CHALLENGE21第9号

特定非営利活動法人
発行者: 全国障害者福祉援護協会
編集人: 永田 近
発行日: 2000年8月31日 第9号
所在地: 〒221-0835
 横浜市神奈川区鶴屋町2-22-3 伊藤ビル
 TEL.045-411-0294 FAX.045-411-0295
定 価: 200円

シンポジウム・イベントの開催

各種イベント等を通じ、ノーマライゼーションの理念の普及を行います。



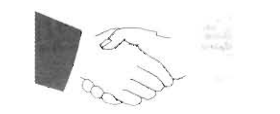
ボランティア活動の支援

ボランティア活動に参加・支援します。



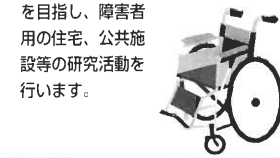
障害者団体への寄付

障害者団体等への、寄付を定期的に行います。



各種研究活動

バリアフリー社会を目指し、障害者用の住宅、公共施設等の研究活動を行います。



高齢者福祉活動

高齢化によって障害をもった方への福祉活動を行います。



広報活動

広報誌の発行、出版等を行います。

